

片側性・両側性下腿浮腫の原因について

6 班 A グループ 0613587M 山村悠大

浮腫とは臨床的には間質液の増加と定義される。

○局所的な浮腫が起こる原因

- ① Starling 力の変化(毛細血管静水圧の上昇、血漿膠質浸透圧の低下)
- ② リンパ管の閉塞(静脈に還流して戻る以外の間質液はリンパ系から還流されるため)
- ③ 毛細血管透過性の亢進

○全身性に浮腫が起こる原因

腎からのナトリウム排泄低下による間質液の増加による。これは有効循環血液量の減少や腎自体の障害によって起こる。

●片側性下腿浮腫の原因について

- ・ 深部静脈血栓症：凝固能の亢進、長期臥床、外科手術の既往、大腿部や下腿部の痛み。
- ・ 蜂巣炎：発熱、有痛性紅斑
- ・ 外傷：炎症によって浮腫が起こる。
- ・ 膝窩嚢胞の破裂：静脈炎に似た症状が起こる。
- ・ 慢性静脈機能不全：無痛、立位によって悪化し挙上で軽快、静脈瘤が見られることも
- ・ 軟部組織腫瘍、血管腫瘍：限局性の圧痛、腫大
- ・ リンパ浮腫：夕方に悪化、爪先の背側から始まる乾燥した鱗状の皮膚

急性

慢性

●両側性下腿浮腫の原因について

- ・ うっ血性心不全：有効循環血液量が低下することによる。起座呼吸、発作性夜間呼吸困難、頸静脈怒張などが見られる。
- ・ ネフローゼ症候群：コロイド浸透圧の低下による。糖尿病の既往や尿検査が重要である。
- ・ 低蛋白血症：コロイド浸透圧の低下による。栄養不良や吸収不良の既往がある。
- ・ 肝硬変：コロイド浸透圧の低下による。黄疸、腹水、肝炎の既往などがある。
- ・ 糸球体腎炎：腎障害による GFR の低下が原因。発熱や咽頭痛の既往や尿検査が重要。
- ・ 薬物の副作用：
 - a) 腎血管収縮によるもの：NSAIDs、シクロスポリン
 - b) 細動脈拡張によるもの：ミノキシジル、ヒドララジン、クロニジン、メチルドパ、グアネチジン、Ca チャネル拮抗薬
 - c) 腎でのナトリウム再吸収増加によるもの：ステロイドホルモン
- ・ 甲状腺機能低下症：圧痕を残さない粘液水腫が生じる。ヒアルロン酸などの増加による。
- ・ 両側性の深部静脈血栓症、蜂巣炎など片側に起こるものが両側に起こる場合もある。
- ・ 妊娠中の浮腫：正常な場合でも起こるが、妊娠高血圧症候群に気をつける。

※参考文献：ハリソン内科学 第3版

Pathophysiology and etiology of edema in adults 2010UpToDate より
セイントとフランシスの総合外来診療ガイド